

(様式1)

タイトル	地域の方々や保育園と交流「藍染め作業学習」
名称(学校・地域)	長野県安曇養護学校あづみ野分教室
日時・場所等	7月・10月
ホームページアドレス	http://www.nagano-c.ed.jp/azumi-ya/

地域の方々や保育園と交流 生徒が先生になって「藍染め作業学習」 ～藍の生葉でバンダナを染めよう～

○あづみ野分教室紹介

- ・安曇養護学校あづみ野分教室は平成22年に開室し、南安曇農業高校の中にあります。今年度は3学年21人の生徒が学んでいます。分教室の生徒たちは卒業後、地域での就労(一般就労、福祉就労)をめざして作業学習、現場実習など様々な活動をしています。そのひとつとして今年度も生徒が講師となって、一般市民を対象とした体験講座や保育園交流で藍染作業を実施しました。

○藍染め学習交流でめざすもの

- ①地域の人たちに分教室の活動を知ってもらったり、保育園児と交流したりすることで、社会との関わりを広げる。
 - ②生徒のコミュニケーション能力の向上を図る。
- ・あづみ野分教室では、作業学習として1年間藍を育てる作業を行っています。南安曇農業高校さんのハウスをお借りして、藍の種を4月に蒔きます。6月には生葉染めができるようになり、8月に藍の葉を刈り乾燥させ、9月以降は乾燥葉で染められるようになります。7月に2回、生徒が講師となって地域の方に藍染め講習会を開いたり、10月には、地元の保育園児と藍染め交流会を開いたりしてきました。
 - ・交流会にむけて、生徒たちは事前学習で、どのように染め方を説明するのか、地域の方々や保育園児に話しかけたらよいのか計画・準備をします。交流会を通して人との接し方、コミュニケーションの取り方を学び、卒業後の社会性を身に付けます。
 - ・地域の方の感想「藍の葉がこんなにさわやかな色になるとは思いませんでした。学生さんのやさしい指導で楽しい染め体験ができました。分教室の皆さんからの若い、思いやりのある指導本当にありがとうございました。よい思い出になりました。」
 - ・保育園の先生から「生徒さんが園児たちに寄り添っていただきありがとうございました。お家の方からも藍染めのバンダナがすてきと声をかけてくださいました」



1年間かけて藍を育てます



保育園児に大人気「染めるんジャー：ブルーとピンク」



たくさんの地域の方が藍染め体験できました